

経営比較分析表（令和元年度決算）

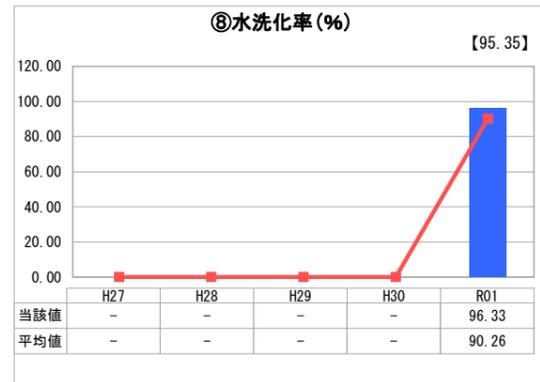
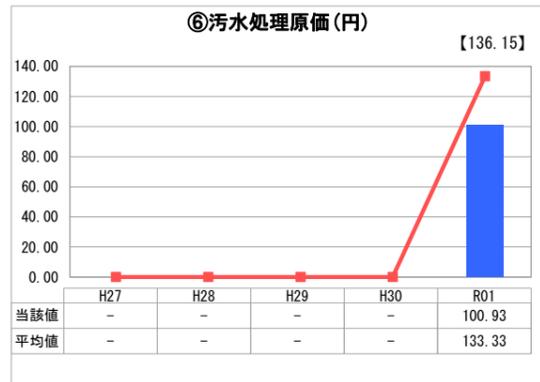
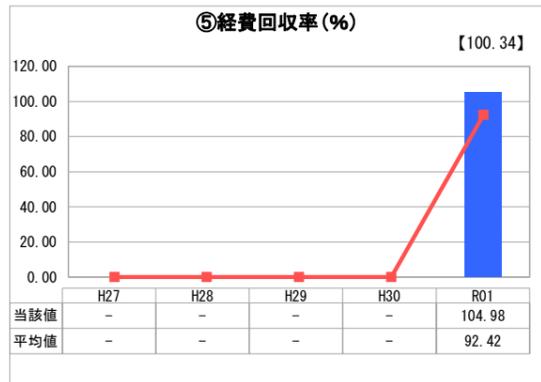
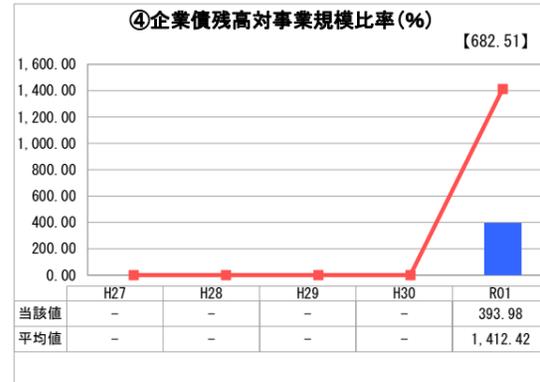
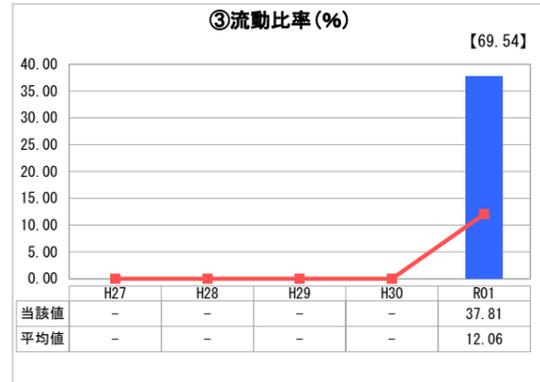
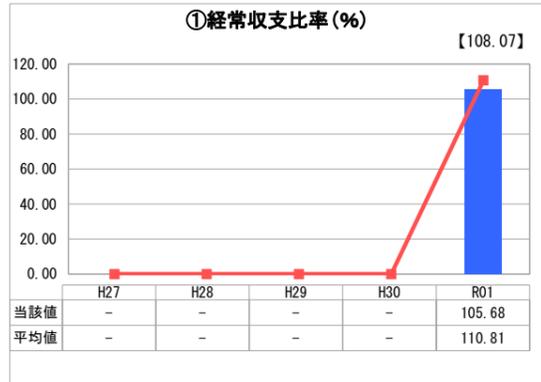
埼玉県 吉川市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bb2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	82.71	82.90	87.77	1,870

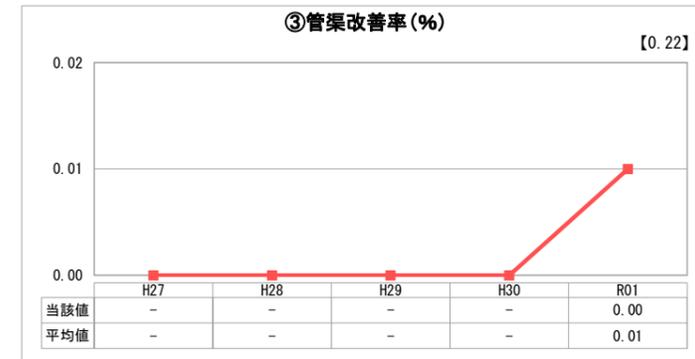
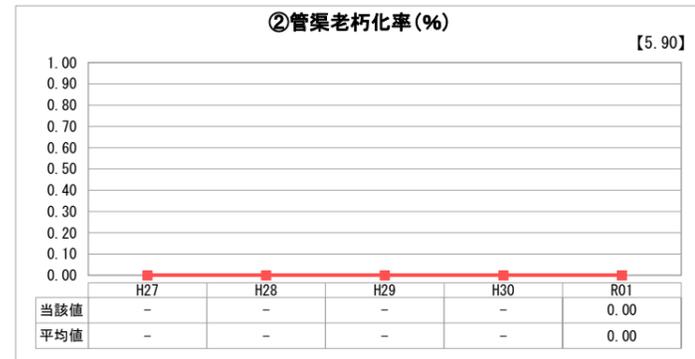
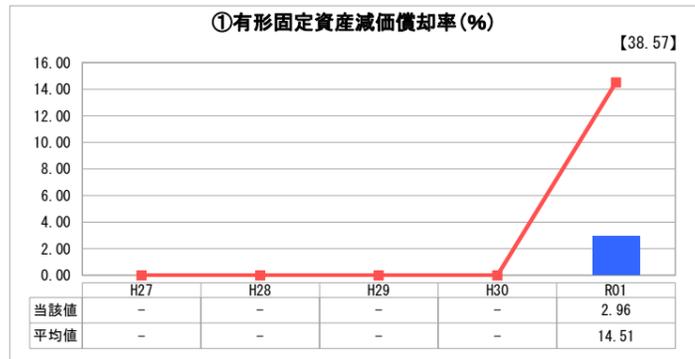
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
73,050	31.66	2,307.33
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
60,528	6.59	9,184.83

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率については、単年度収支が黒字であることを意味する100%を超えており、適切な数値と考えている。今後についても吉川市下水道事業経営戦略（令和2年度策定予定）に基づき、適切な経営に努めていく。
- ③流動比率については、類似団体平均を上回ってはいるものの、全国平均からは下回っている。これは令和元年度から企業会計に移行したことにより、現金などの流動資産が不足していることが要因と思われる。今後、適切な会計処理を維持していくことで、会計年度が進むことにより解消するものと考えられる。
- ④企業債残高対事業規模比率については、利率の高い債務の償還が終了したのもあり、類似団体平均値や全国平均値以下の比率となっているため、適切な数値と考えている。
- ⑤経費回収率は、類似団体平均値及び全国平均値を下回っており、適切な数値であると考えている。
- ⑥汚水処理原価については、類似団体平均値や全国平均値以下の原価となっているので、適切な数値と考えている。
- ⑧水洗化率については、類似団体平均値や全国平均値以上の数値となっている。微増ではあるが、比率が伸びていることから未接続世帯への接続依頼などは継続的に実施していく。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、耐用年数を経過した管渠がないため、管渠の更新は実施していない。今後は、吉川市下水道事業経営戦略（令和2年度策定予定）に基づき、計画的に管渠の維持管理及び更新を図る。

全体総括

現在のところ、流動比率を除き各指標は適切な数値となっており、適切な経営状態であると考えている。今後については、汚水処理費の増加や、管渠及びポンプ施設の耐震化工事に対応するため、吉川市下水道事業経営戦略（令和2年度策定予定）に基づき、計画的に事業を実施していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。